



南雲 正

観光、雇用、人事、教育等に対する、開かれた町政運営の積極的な取り組みを求める

質問 昨年の新潟大観光交流年の成果をどう活かしているか。

スキー観光の低迷が続く中、昨年の新潟デスティネーションキャンペーンは国体、天地位人が後押しをし、大きな効果を挙げた。この効果を過性のものにせず今年につなげることが観光振興の大命題であったが、観光客の減少は続いている。今年の長野信州デスティネーションには妙高、十日町も参加し積極的な展開が行われている。10月にはJRが東北3県を対象に妙高、十日町を含む信州エリアで5日間乗り放題、2万円前後の格安チケットも発行されている。JRとは特別良好な関係にありながらこの企画に参加できなかった理由と今年のポスト観光交流年の取組を伺いたい。

町長答弁

観光協会の観光情報ニュースでお知らせの通り、数多くのイベントが開催され、町の観光客数も前年を上回っている。JRでは雪国観光園バスを発行、観光圏内50箇所連携によるパックも発売されている。信州DCの参加については私にはどうすることも出来ない。

不適切な人事、ちぐはぐな行政運営を止め、若者の雇用機会の大を図れ

質問

新卒者の就職難、若者の雇用は社会問題として、国、市町村もその対策に取り組み始めている。湯沢町でも、若者の安定した雇用を増やし、人口増への足がかりにして組織と地域の活性化を図る必要があるにも係わらず、

町長答弁

定年退職者の再任用制度活用職員の任期半ばでの副町長就任、前副町長の社会福祉協議会事務局長就任、職員異動における過去に経験した部署への配置等、町政運営に求められる「町民目線」とは程遠い行政運営が平然と行われている。この結果唐突な成人式先送り問題、緊急経済対策の中央公園トイレ改修事業が必要な時期に完成しない等多くの問題の引き金になっている。役場の定年退職者の活用を止め、社会問題となっている若者に雇用の場を創出し、役場組織を活性化し、町の活性化に繋げる必要があると思うが見解を伺う。

町長答弁

安定した雇用創出を図るべく企業誘致等の方策を探っている。再任用制度は新卒者では対応できず、退職者の知識経験がなければ一定の事業

を適正に実施することができないと私が判断した場合に活用する。前副町長の社会福祉協議会事務局長就任は、新しい人では勤まらないと理解しているの、来てくれという会長の気持ちを理解した。

アメリカ合衆国マグナとの姉妹都市提携の早期決着と小学校統合にあわせ低学年からの英語教育の導入を

質問

国際姉妹都市提携先としてソルトレイク郡マグナを決定し、平成16年から中学校生徒の交流事業を開始し、70名の生徒が派遣され、マグナから39名の学生が来ている。この事業が多くの成果を上げ、マグナの治安の良さ、文化度、人間性等は7年間の交流を通じて確認できたはずである。マグナ側の交流プロジェクトの積極的な対応に因るためにも早急に姉妹都市提携を実施することが必要である。わが町は小学校の統合を機に小中一貫教育という特色ある教育体系を目指すことから、このマグナとの交流の成果を活かし教育特区による小学校1年からの英語

町長答弁

マグナとの交流は国際姉妹都市提携先として湯沢町からお願したものであり、訪問のたびにとても歓迎されはじめから姉妹都市のような対応をいただいた。来年度は私が出向き、語学、文化交流を軸にした姉妹都市提携を自ら感じてきたい。小学一年からの英語教育の導入は現行制度の範囲内で充実を図りたいが、教育委員会での検討を進言したい。

議会ネット中継による町民に開かれた議会の実現を

質問

地方自治の原点である、町民が主役、町民参加の町政運営の足がかりとして議会のインターネット中継実施に向けた早急な取り組みを求める。

町長答弁

町民のパソコン保有率等、公平という観点から難しい状況ではあるが、前向きに検討したい。

一般質問